

あれから70年...



ビキニ環礁で起きたこと



杉並区

平和展

令和6年 7/29(月)-8/9(金)

杉並区役所2階 区民ギャラリー

午前8時30分～午後5時 ※最終日は午後4時

杉並区平和都市宣言

世界の恒久平和は、  
人類共通の願いである。  
いま、私たちの手にある  
平和ゆえの幸せを永遠に希求し、  
次の世代に伝えよう。  
ここに杉並区は、  
核兵器のなくなることを願い、  
平和都市を宣言する。

昭和六十三年三月三十日  
杉並区



# あれから70年… ビキニ環礁で起きたこと

皆さんは、ビキニ事件を知っていますか。

1954年3月1日、第五福竜丸をはじめ多くの日本の漁船が、太平洋のビキニ環礁で行われたアメリカの水爆実験によって被ばくし、乗組員や周辺の島々が被害を受けた事件です。

この水素爆弾は、広島で使用された原子爆弾の1,000倍の威力があり、放射能による人体への被害、魚介類を含む海洋汚染はひときわ大きく、当時のたんぱく源だったマグロやクジラなども汚染されました。水産業は大きな打撃を受け、漁商組合などが始めた実験反対の署名運動は、杉並区立公民館を拠点として、杉並区から全国に展開し、世界に広がりました。

あの事件から70年が経過しましたが、この間、核兵器は廃絶に至らず、ウクライナ戦争やガザ紛争が起きるなど、核兵器使用の緊張は高まっています。

本展は、都立第五福竜丸展示館が所有する映像資料、パネル資料及び現物資料などを通して、第五福竜丸の被災の状況や原水爆禁止署名運動を紹介します。



## パネル展示

第五福竜丸の被災及び乗組員被害の状況、ブラボー実験、マーシャル諸島の被害、世界の被ばくの状況について、写真入りパネルを展示します。



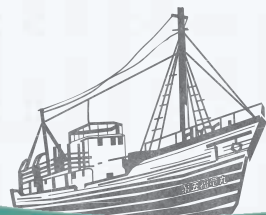
写真提供 第五福竜丸展示館

## ビデオ放映

事件後まもなく撮影された科学ドキュメンタリー映像などを、大型ディスプレイで放映します。



写真提供 第五福竜丸展示館



## 現物資料の展示

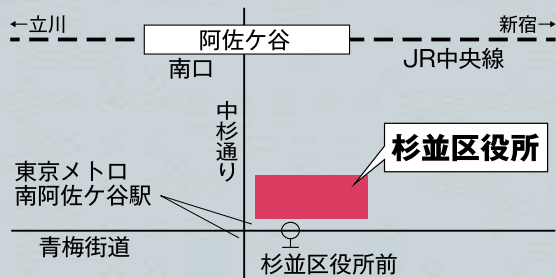
「死の灰」や「久保山家に届いた杉並区民からの手紙」「ガイガーカウンター」など、当時使われていた現物資料（一部レプリカ含む）を展示します。




写真提供 第五福竜丸展示館

※展示内容は予定です。予告なく変更となることがあります。

ACCESS  
アクセス



- ・JR中央線「阿佐ヶ谷駅」南口から徒歩7分
- ・東京メトロ丸ノ内線「南阿佐ヶ谷駅」徒歩1分

問合せ先  杉並区役所 区民生活部管理課  
杉並区阿佐谷南1-15-1 TEL.03-3312-2111(代表)

協力 都立第五福竜丸展示館